

自立相談支援事業従事者養成研修事業 主任相談支援員プログラム  
職員の資質向上と職場(組織)づくり

# スーパービジョン演習

日本福祉大学

田中 千枝子

# スーパービジョンとは（テキスト）

対人支援の人材養成に関する方法論の1つ  
バイザーとバイジーの関係性（やりとり）の中で行う  
「支援者への支援」「3つの機能 管理・教育・支持」

## 2つの目的

- バイジーの成長と実践能力の向上
- バイジーが支援している利用者のニーズ充足  
社会に対するサービス保証（システムとして）  
当事者を担当している支援者への支援



# スーパービジョンの重要性

多様な複合的問題を持つ

既存の制度では解決できない

介入拒否・孤立など動機付けの薄い

支援困難事例多い

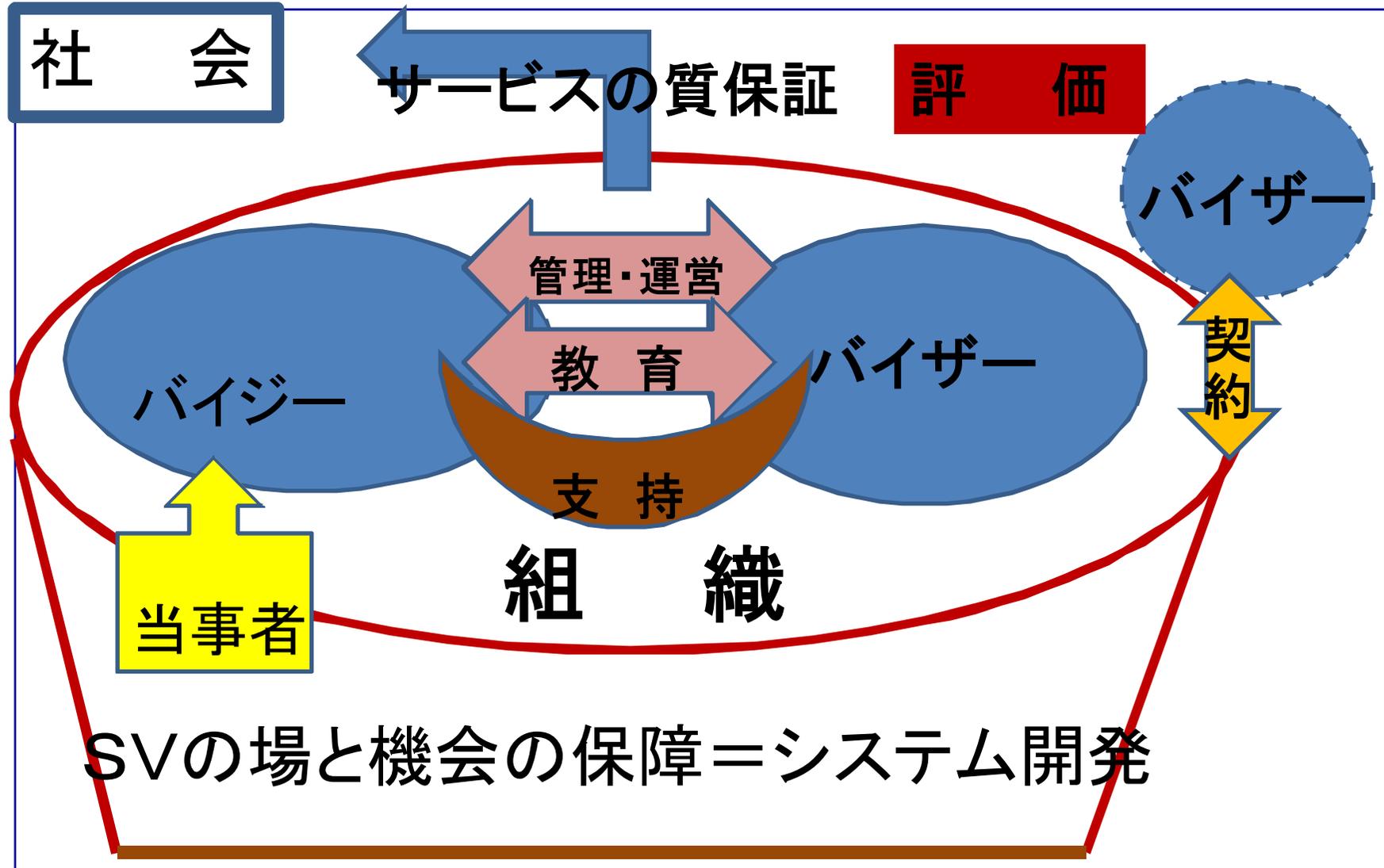
様々な専門機関・領域との協働が必要

寄り添い型支援など粘り強い支援を要する

→バーンアウトなどが生じやすい

支援調整会議や事例検討会では「事例」や「プラン」を問題にすべき 「事例を受け持っている支援者」やその「アセスメント」および「支援者の支援体制強化」を問題にするのは地域会議ではなくスーパービジョンであるべき

# スーパービジョンの構造



# スーパーバイザー(主任相談支援員) にとって必要な知識・理解枠組み

## 「関係性」の意味

- 信頼関係と契約関係(職場内・職場外)
- 職場・組織としてSVの機会や権利が定着する必要性(時間・場所・他部署への理解・運営方法 システム化)
- 「(通常事例の)やりとり」「相互作用」「コミュニケーション」  
→「そういえば」「～かもしれないと思う」と自ら思いつくように

## 「成人(社会人)教育」の前提として理解

- 成人教育は子供の教育と全く異なる
- 成人は自分の経験から判断して、自分の興味にくいつく
- 自分のことはけなされたくない ほめられたい
- 支援関係とSV関係はパラレル(並行的)である

# 管理・運営的機能(アドミニストレーション)

対クライアント、対組織、対地域、対社会に対し、SVorはSVeeの実践・サービスを管理・保証していく またSVeeを組織として保護できるようにする

- 組織のミッション、人権など機関が持つ価値に沿って支援が行われているか？
- 逸脱行動がなされていないか？
- 地域や組織内資源との連携がうまくとれているか？
- 機関としての支援の範囲を超えていないか？ 等

に関する支援者の「理解や評価・関係性」を把握・査定し、助言等を行うとともに、組織運営面でのバックアップを行う

# 教育的機能

支援の専門職として必要な知識・技能・態度について、支援の現場や問題に合わせて提示し、SVeeが自らの課題として解決できるように支援する

●問題ごとに必要な知識、制度、仕組み等を知っているか？

●知識や状況に合わせて、技術を発揮できる能力・スキルがどの程度あるか？

●支援の態度が、価値や倫理に沿ったものとして理解されているか？どのように自分の実践を振り返り(省察)ができる人か？

等について、事例(当事者を担当している)を持つSVeeに対してチェックや糾弾ではなく、自己覚知および他者・環境理解に繋がるように、SVeeが自ら思い至るよう支援する。

# 支持的機能

支援の基本に据える機能であり、支持することで、SVは自己肯定感を高め、勇気や自信をもって、新たな支援方法にトライできるようエンパワメントが可能になり、安心できるSV関係のメンテナンスや「燃えつき」症候群に対する緩衝の役割をする

●「相談」に来ると言うことは、うまく解決に進まず支援者としてのパワーレスの状況であることが多いという認識を持つ

●「ほめる」「ねぎらう」「根拠を持って良さを引き出す、気づかせる」「ストレングス視点でみることで、状況の認識枠組みを変える」等によって、エンパワメントに寄与する。「評価」的にならないように注意のこと

●支持的機能は通常単独で発揮されるよりは、教育的機能や管理的機能の基盤に含ませながら発揮される また教育・管理機能の「あいので」のように使用することが多い

# 役割ごとと主役とサポーターで作戦会議

## ①SVee役は役作り    どんな支援者なのか

何を知っていて、何がわからないのか

何に不安を持っていて、どうして欲しいと思っているのか等

## ②SVor役は特定の機能によって何を伝えたいのか 伝えるためには何を聞き、何を話していくといいのか

各機能ごとに意図を持ったやりとりになるように想定し計画する

伝えたい主題は1～3個程度 押しつけ過度な説明や訓示にならない

一方的なやりとりではなく、双方向の関係性のなかでSVeeが自分自身で思い至るようになることが目標